

病虫害発生予察 3月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

3月の気象表(長野地方気象台)

官 署	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	6.7	5.4	6.4	11.5	27.0	50.5	54.3	69.7	54.4
	平年	2.1	3.9	5.3	16.1	18.3	25.0	53.0	56.1	59.4
松 本	本年	5.7	5.9	7.2	16.5	11.0	46.5	50.8	80.3	57.2
	平年	2.3	4.0	5.4	21.7	22.8	35.2	60.0	61.6	63.4
諏 訪	本年	5.4	5.2	6.7	33.0	15.0	47.0	53.2	82.6	62.1
	平年	1.8	3.4	4.9	24.1	27.0	39.1	62.2	63.8	65.4
軽井沢	本年	2.3	2.2	3.7	19.0	21.0	61.5	51.6	85.1	59.7
	平年	-1.1	0.5	1.8	17.3	19.7	30.9	59.3	62.5	64.2
飯 田	本年	6.7	6.1	9.0	62.0	18.5	83.5	54.7	75.0	66.0
	平年	4.0	5.6	7.1	37.5	41.2	57.9	58.4	60.2	60.2

3月の天候の特徴

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。気温は、冬型の気圧配置が現れにくく、南から暖かい空気が流れ込みやすかったためになんかなり高くなった。長野、信濃町、飯山、白馬では月平均気温の高い方から3月として統計開始以来第1位を記録した。29日は低気圧と寒気の影響により、大雪となった所があった。

1 麦

(1) 生育概況

台風の影響で播種作業が2週間程度遅れたが、11月中旬は平年よりも約2℃高く推移し、出芽数は大麦、小麦ともにほぼ平年並であった。その後も気温が平年よりも2℃程度高く推移したため、平年並～やや進んでいる状況である。農業試験場調査では、大麦(ファイバースノウ)は、平年に比べて茎数は6%程度少なく、草丈は13%高く、葉数はやや多かった。幼穂形成期は平年に比べて30日早く、茎立期は平年並であった。小麦(シラネコムギ)は、平年に比べて茎数は18%程度少なく、草丈は30%高く、葉数はやや多かった。幼穂形成期は平年より29日早く、茎立期も8日早かった。

第1表 麦の生育状況(須坂市:農業試験場作物部)

品種名	区分	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	幼穂 形成期	茎立期
ファイバースノウ (大麦)	平年	947	13.2	6.7	3/13	3/30
	前年	1135	17.3	9.3	3/2	3/21
	本年	890	14.9	7.3	2/12	3/30
シラネコムギ (小麦)	平年	1144	16.8	7.1	3/20	4/1
	前年	1632	25.6	8.9	3/8	3/22
	本年	933	21.9	7.5	2/20	3/24

<耕種概要>播種期:大麦・小麦 2019年11月5日

注) 平年値は過去7ヵ年における最大値と最小値を除いた5ヵ年の平均値、本年の茎数、草丈、葉数は3月15日調査

(2) 病虫害の発生状況

1) 小麦の土壤伝染性ウイルス病(コムギ縞萎縮病・麦類萎縮病)

生産現場では耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われているため、発生は目立たなくなっているが、罹病性品種作付けほ場の一部で発病が確認されている。

2 りんご

(1) 生育概況

ふじの発芽は平年より4日早く、展葉は5日早かった。

第1表 りんごの生育状況(須坂市:果樹試験場 4月9日現在)

品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
ふじ	平年	3/31	4/13	4/28	5/2	5/8
	前年	3/28	4/16	4/29	5/2	5/8
	本年	3/27	4/8			

平年値は1981年から2010年の平均値

(2) 病虫害の発生状況

1) うどんこ病

第一次伝染源である“ぼけ芽”(発病枝率)は、前年より少ないが一部地域で見られている。

第2表 うどんこ病の罹病枝率 (%)

	2018年	2019年	2020年
東信	1.6	0.1	0.5
南信	0	0	0
中信	0	0.2	0
北信	3.1	1.6	0.1

2) リンゴハダニ

リンゴハダニの越冬卵は、南信の2ほ場で多くみられた他は、平年並～越冬卵が確認できないほ場が多かった。前年に引き続き発生は少ない傾向であった。

第3表 リンゴハダニの越冬卵数(卵数/短果枝)

地方	調査ほ場数	本年	平年	前年 2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
東信	5	0	1.7	0.2	0.2	0	0	0.6	3.3
南信	5	3.4	2.1	3.4	0	0.5	3.4	2.5	6.0
中信	6	0	0.1	0.1	0	0	0	0	0
北信	16	0	0.4	0	1.9	0.4	0.2	0.3	0.0

平年は2010～2019年の平均値

越冬卵数の計算方法は、以下の基準、計算方法より算出

越冬卵数程度別基準

無：0個、少：1～25個、中：26～50個、多：51～75個、甚：76個以上

1短果枝当りの越冬卵数

(13(少の短果枝数)+38(中の短果枝数)+63(多の短果枝数)+88(甚の短果枝数)/調査短果枝数

3 なし

(1) 生育概況

発芽は平年と比べ平年並～2日遅かった。
鱗片脱落期は平年並(平年より1日早い～1日遅い)であった。

第1表 なしの生育状況(高森町：南信農業試験場 4月12日現在)

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期			落花期	鱗片脱落期
				始	盛	終		
	平年	4/2	4/16	4/19	4/22	4/26	4/29	4/10
二十世紀	前年	4/2	4/17	4/22	4/23	4/27	5/2	4/11
	本年	3/28	4/12					4/8

幸水	平年	4/4	4/19	4/21	4/24	4/28	5/2	4/10
	前年	4/3	4/21	4/23	4/25	5/1	5/5	4/9
	本年	3/29						4/5
豊水	平年	3/31	4/14	4/18	4/21	4/25	4/29	4/8
	前年	4/2	4/17	4/21	4/23	4/27	5/2	4/9
	本年	3/27	4/9					4/3

平年値は、1991年から2010年まで(20年間)の平均。

(2) 病害虫の発生状況

1) 黒星病

ナシ黒星病菌子のう胞子の飛散は、4月第1、3半旬に確認されたが、平年より少なかった。

第2表 4月のナシ黒星病菌子のう胞子の補捉数の推移(高森町：南信農業試験場)

年度	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
平年	11	200	769	1,849	6,015	3,221
2018年	0	686	1,793	6,291	30,181	5,656
前年	0	0	0	0	226	3,560
本年	2	0	115			

平年は過去10年の平均値

2) ハダニ類

1か所で平年より多くみられたが、他は平年並以下であった。

第3表 巡回調査ほ場1短果枝当たりハダニ類の越冬卵数(個)

区分	二十世紀				幸水				
	飯島町	中川村	飯田市	松川町	高森町	豊丘村	下條村	松川町	塩尻市
平年	0.7	0.5	2.6	0.3	0.1	0	-	0.0	0.1
前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本年	0	0.4	1.3	6.9	0	0	0.4	0	0

平年値は2010～2018年の平均値 越冬卵数の算出方法はリンゴのリンゴハダニ調査方法を参照

4 もも

(1) 生育概況

発芽は平年と比べると4～11日早く、開花は平年より5～9日早かった。

第1表 ももの生育状況（須坂市：果樹試験場 4月9日現在）

品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
白鳳	平年	3/30	4/22	4/20	4/24	5/2
	前年	3/28	4/25	4/21	4/25	4/30
	本年	3/19		4/15		
川中島白桃	平年	3/30	4/22	4/20	4/24	5/3
	前年	3/26	4/25	4/20	4/25	5/5
	本年	3/19		4/15		
秀峰	平年	3/28	4/21	4/17	4/22	4/30
	前年	3/27	4/26	4/19	4/23	5/3
	本年	3/24		4/8		

平年値は1981年から2010年の平均値。「秀峰」は2008年から、「白鳳」は2009年から、「川中島白桃」は2019年から調査樹更新。

3) レタスのナモグリバエ

野菜花き試験場佐久支場（小諸市）における黄色粘着トラップによる調査では、昨年同様3月第6半旬に1頭初誘殺された。

4) たまねぎの病害虫

3月下旬の巡回調査で、中信地域の調査ほ場においてべと病の発生がみられた。

5) その他のフェロモントラップ誘殺状況

県発生予察ほ（塩尻市宗賀及び小諸市山浦）における調査ではオオタバコガの誘殺はみられなかった。また、タマナギンウワバの初誘殺は塩尻市宗賀で3月第6半旬（昨年は3月第4半旬）、小諸市山浦で3月第6半旬（昨年は4月第2半旬）に確認された。

5 野菜

(1) 生育概況

3月の気温が高めに推移したため、ほ場の準備や定植作業は平年に比べて早くなったところが多かった。

(2) 病害虫の発生状況

1) 果菜類（施設栽培）の病害虫

病害虫の発生は見られなかった。

2) アブラナ科野菜のコナガ

フェロモントラップ調査では、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）で3月第5半旬（昨年は3月第6半旬）、小諸市山浦（県発生予察ほ）で3月第6半旬（昨年は4月第1半旬）、朝日村古見（地区発生予察ほ）で3月第3半旬（昨年は3月第5半旬）に初誘殺された。いずれも昨年より1～2半旬早かった。

第1表 フェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	3・1	3・2	3・3	3・4	3・5	3・6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	0	0	0	0	1	1
小諸市山浦（同 佐久支場）	0	0	0	0	0	1
朝日村古見（病害虫防除所）	0	0	1	0	0	0